

SDGs 宣言書

当社はSDGsの達成を通じて、地域の暮らしをより魅力的にし、次世代に継承しようとする取組みに貢献してまいります。

馬野化学容器 株式会社

代表取締役 馬野 知子

西暦2023年7月

当社の重点目標

医療現場の意見を反映した商品開発

当社は大正8年に創業以来医療現場の様々な声を聴き、絶えず医療用容器類の商品開発や商品改良に取り組んで参りました。今後も公益財団法人日本薬学会の学会や医療関係の展示会などへの積極的な参加を通じて、医療現場のニーズを反映した商品を開発して参ります。



梱包資材削減を通じた環境負荷低減に向けた取組み

商品納品時の梱包資材削減を通じて、環境負荷低減への貢献を行って参ります。



新素材プラスチック素材の実用化による海洋プラスチック問題解決への貢献

海洋プラスチックごみの削減を目的として、海洋生分解性バイオプラスチックの開発・社会普及を目指した産官学のプラットフォームに参画しております。実用化に向けた試作等への協力を通じて海洋プラスチック問題の解決に貢献して参ります。



健康でいきいきと働ける職場環境の整備

性別に関わらず多様な人材が能力と個性を生かし、健康にワークライフバランスを実践しながら働くことができる職場環境づくりを目指して、特定の社員しか知らない業務を発生させないように業務情報共有体制の整備に努めて参ります。



尼崎信用金庫は上記企業のSDGsへの取組みを評価するとともに、その活動を支援していきます。

(評価にあたっては経済産業省の支援モデルをベースに、東京海上日動火災保険株式会社の協力を得ています。)